

- ・ 浜益区に一番必要なものは「人」。
- ・ 豊かな自然、海山の豊富な食材を生かしきれていない。
- ・ アイディアが有っても人手を確保することができないのが悩み。
- ・ 年々加速する高齢化で早急な対処が必要である。

### 早期実行可能な案

100件を超える空き家のうち利用可能な家を買上げ、体験型田舎暮らしで人を呼び込む。

去年、道南一市八町で行われた「ちょっと暮らし事業」のようなもの。実際口コミですでに5名ほどリタイヤ組が浜益生活を楽しんでいる。畑を作ったり、山菜を取ったり、農家の手伝い、果樹園手伝い等、重要な労働力になりつつある。

牛の放牧に使用されていた広い土地が今年から使用しなくなった。浜益の人口より増えてしまった鹿を捕獲して鹿牧場にする。併設して解体工房を作り真空パックで全国発送する。軌道にのったらレストランも作り、若い人の雇用、人の流れも確保できる。山の上なので展望も良い。ここを拠点に食育に関わることもできるのでは。

### 今後の浜益の可能性についてのアイディア

#### (1) 廃校を利用した地域振興策

- ・ 下記に挙げた合宿やツアーなどの宿泊施設として、大人数が一度に宿泊できるような環境整備をする。
- ・ 花を植えて、海と花を見られるような花畑をつくり、名所とする。

#### (2) 民宿の受け入れ態勢を整備する

- ・ 農家や漁師の家に宿泊する民泊を受け入れてもらえる家を増やす。
- ・ 宿泊する中で農作業や漁業などの体験をさせる。

(3) 登山やスポーツの合宿誘致

- ・ マラソン、トレイルランニング、登山、サイクリングなどのスポーツ愛好者、大学の部活・サークルや企業のスポーツ部などを対象にスポーツ合宿を受け入れる。
- ・ 海産物を使って運動をサポートする食事を提案したり、浜益温泉を使った体のメンテナンス方法の提案をするなど、浜益内の資源を使ってトータルコーディネートする。

(4) 一次産業体験ツアー

- ・ 対象は、（都会の）小学生とその保護者
- ・ 農業と漁業が盛んな浜益で、小学生に農業と漁業の両方を体験させ、将来の職業選択の選択肢として考えてもらう場としたり、「食」について親子で考えてもらう場とする。

(5) ふるさと公園やきらりなどのミニ「道の駅」化

- ・ 海産物・農産物を含めた浜益の特産品を一括して買えるような施設にする。
- ・ 厚田にできる「道の駅」のサテライト的な形で、両方の道の駅に立ち寄ってもらえるように観光施設の案内をしたり、双方の景色などをリアルタイムで映像として見せたり、コラボ商品の企画などを行ったりする。